

# 城南家保ニュース Vol. 7

熊本県城南家畜保健衛生所 平成20年 9月 発行



<http://www.pref.kumamoto.jp/construction/section/kaho/jounan/jounan-index.htm>

電話 0966-22-3814、FAX 0966-22-3617

## 研修会が開催されました！！

暑熱によるストレスが大きい季節は、家畜にとって不用意に刺激を与えないことも、ストレス緩和の一つの方法と思われます。

一方、畜産農家は、この暑い時期に飼養管理能力を伸ばす絶好の機会といえるでしょう。今回、8月下旬に開催された鶏に関する研修会と養豚研修会を紹介します。

### 1 平成20年度熊本県鶏病技術研修会

平成20年8月22日 鶏病研究会熊本県支部が主催し、熊本県との共催のもと熊本県中央家畜保健衛生所（下益城郡城南町）において平成20年度熊本県鶏病技術研修会が開催され、県内家畜保健衛生所及び化学及血清療法研究所から計6題が発表されました。



城南家畜保健衛生所からは防疫課の稲永敏明 技師が「管内のキジ飼養農場における飼養状況調査と衛生対策」と題し、現在、家伝法（家畜伝染病予防法）の対象動物になっていない管内のキジ飼養農場において、HPA I（高病原性鶏インフルエンザ）等の防疫を想定した衛生対策指導について発表しました。

<その他の提供話題など>

- 1 「天草地域の鶏卵生産と鶏卵流通の現状」  
熊本県天草家畜保健衛生所 安田 航
- 2 「学校飼育動物（鳥類）の飼養実態調査と衛生対策」  
熊本県中央家畜保健衛生所 友枝 沙紀
- 3 「ブロイラー農場の飼養衛生管理の現状と課題」  
熊本県阿蘇家畜保健衛生所 遠藤 直子
- 4 「ワクチンの投与方法および投与回数の変更による産卵率低下～鶏脳脊髓炎を中心として～」  
熊本県城北家畜保健衛生所 崎村 武司
- 5 「採卵鶏育雛場で発生したⅠBDの関与を疑う腎炎型ⅠB」  
(財)化学及血清療法研究所 村川 泰司



発表終了後、神奈川県自然環境保全センター 加藤 千晴 先生を講師に迎え、「養鶏農家への野鳥飛来の実態」と題し、特別講演が行われました。

目	科	種
カイツブリ目	カイツブリ科	カイツブリ、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ
ペリカン目	ウ科	カワウ
コウノトリ目	サギ科	アオサギ、タイサギ、アマサギ、ゴイサギ、コサギ
カモ目	カモ科	コフハクチョウ、オオハクチョウ、コハクチョウ、マガモ、オナガガモ、マガン、シジュウカラガン、ホシハジロ、キンクロハジロ
タカ目	タカ科	オオタカ、チュウヒ、ノスリ、クマタカ、サシバ
	ハヤブサ科	ハヤブサ、チョウゲンボウ
ツル目	クイナ科	オオバン、バン
チドリ目	カモメ科	ユリカモメ
フクロウ目	フクロウ科	ワシミミズク、コノカズク
スズメ目	カラス科	ハシブトガラス、ハシボソガラス、ミヤマガラス

\*日本で過去に生息が確認されている野鳥のうち高病原性鶏インフルエンザウイルスに対し、感染リスクの高い種（9目10科33種）

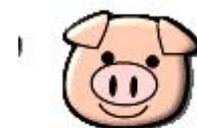
## 2 平成20年度養豚研修会を開催しました。

平成20年8月27日、熊本県養豚協会球磨支部及び熊本県城南家畜保健衛生所の共催で、管内養豚農家を対象に研修会を開催しました。

出席した養豚農家の方は、熱心にメモをとられ、活発な意見交換が行われました。当所では、今後も引き続き養豚農家の方への情報提供に努めたいと考えています。

### <研修会の内容>

- 1 離乳子豚の管理ポイント  
(離乳子豚に多発する疾病とその対策)
- 2 最新情報  
(サーコウイルス関連情報)
- 3 その他



熊本県城南家畜保健衛生所

電話 0966-22-3814

熊本県城南地区家畜自衛防疫促進協議会

電話 0966-28-3234